



NO IMAGE

## 那須川 結夏（なすかわ ゆうか）

職業：学生

身長：148 センチ

血液型：A 型

一人称：私

ヒロインの呼称：弥映ちゃん

体型：すらっとして、細め。

背筋が伸びていて姿勢がいい

特技：ピアノ、バレエ

趣味：読書、映画鑑賞、スマホゲーム

家族：父、母

## 人物

厳しめの家で、きちんと、  
丁寧に育てられた『いいところのお嬢さん』。

性格は真面目で優秀、学校の成績も優秀。  
休みの日でも朝早く起きて、  
何があっても三食食べるタイプの、  
何事もコツコツと取り組む、信頼される人柄の持ち主。

そのため学校では  
『しっかり者のお姉さん』  
あるいは  
『世話焼きお母さんキャラ』  
で通っていた。

しかし、実際は周囲よりも大人っぽいがゆえに  
あまり話が合わず、ひそかに孤独を感じていた。  
また、周りよりも成熟の早い自分を  
特別な存在のように思う、ちょっと中二病な一面もある。

さらに、肉体的な成長も人より早く、  
性への関心が人一倍強い。

そんなある日、  
性描写のあるヤングアダルト小説とその著者にはまり  
ますます性的な事に興味を持つようになる。

だが、だからと言って気になる人がいるわけでもなく、欲望だけを持て余す、悶々とした日々を送っていた。

そんな夏のある日、  
伯父伯母の住む田舎で過ごしていたところ  
買い物帰りに、河原でアダルト雑誌を発見。  
思わずしゃがみこんで眺めてしまう。

そして、それを弥映に目撃されたのをきっかけに、  
ちょっと普通じやないけれど、  
大切な思い出の詰まった夏を過ごす事になる。

自分の性的指向は『特に決めずにいよう』という  
考えの持ち主で、  
もともと恋愛対象は限定していなかった。  
そしてそんな自分を『臨機応変でかっこいい』  
と思っていた。

しかし、女性、特に大人の女性の身体に興味がある  
自覚があり、  
『魅力的な身体を持つ大人の女性』である  
弥映に、出会ってすぐに惹かれて行く。

そんな折、女性同士のセックスに興味がある事がばれ、  
弥映に『セックスしてみよう』と誘われる。  
だがこれを『自分の恋人になってくれるならよい』  
という条件を付け、承諾されたことで

『弥映の恋人』となり、  
静かなはずの夏が大きく変わっていく。

当初は弥映の事を  
『年下の女性とのセックスに興味があるだけの、  
遊んでいる女性』  
だと思い込んでいた。

しかし、その割には自己評価が低く、  
何をするにも自信なさげな弥映の人柄に触れるうち  
『恋人として、自分にできる事全部をしたい』と  
思うようになっていく。

趣味はスマホゲームで、育成も石の貯蔵も  
無理のない範囲の課金も、  
計画的にきちんとできるタイプ。

また、映画を見る事も好きだが、  
推している女優さんが演じる役は、  
『なぜか作中でよく死亡する』傾向にある。